

「深視力」と「集中力」こそが生命線！ ～クレーン操作技術の更なる向上と事故ゼロのために～

建設工事現場等で重いものを釣り上げるクレーン車。大きさによっては特殊な免許が必要とされ高度な技術が求められる。ブームと呼ばれる部分は小型でもおよそ20mの高さまで伸びる。そのクレーンの先端部分（フック）に取り付けた画びょうで6つの風船を割り、その最短タイムをトーナメント方式で競い合う。

福岡クレーン協同組合は、平成23年10月23日（日）、福岡市にてクレーン操縦士の技術力と安全意識を高めようと今回で4回目となる“ちょっとユニーク”な技能大会を開催した。



先端部分（フック）に取り付けた画びょう

クレーン操作で最も大切なのは「遠近感」や「立体感」を正確に把握する「深視力」と何が起こっても動じない「集中力」。目線が異常に高い操縦席からは、標的となる風船は米粒のように小さく見えるため、少しでも操作を誤ると

フックが大きく揺れてしまい、どんな熟練操縦士でも容易には風船を割ることは出来ない。

「通常の仕事では、多少の誤差があっても仕事には全く支障はないが、本大会は距離感と立体感をきっちり合わせてピンポイントで、それも短時間にワイヤーを下ろさないといけない。風船にヒットする角度が数センチずれただけでも、自分をあざ笑うかのように風船は割れてくれないんです。」

参加したある操縦士がこのようにちょっと弱気な発言をするように、日常の工事現場ではそこまで求められない操作精度を、本大会ではあえて要求し対応できない者は容赦なく敗者の憂き目に遭うのである。

また、普段の仕事の技量が正直に反映されるため、操縦席でレバーを握るその目は、「遊び」感覚など全くない仕事士の目そのものであり、操縦士としてのプライドを賭けた真剣勝負の場となっている。

本大会の実行委員長である藤井副理事長は本大会の開催にあたりこう述べる。「クレーン操作は上手くいけば人が出来ない何十何百倍の効率が上がるが、同時に操作ミスにより、人の命が危険に晒されるという大きなリスクを抱えている。だからこそ我々は安全性確保の為に、常に操作技術の向上に努める義務があるんです。」



整然と並ぶクレーン車は圧巻である



子供達の応援にも熱が入る

クレーン操作技術向上の他に、本大会のもう一つのテーマは、家族との「ふれあい」。会場には多くの家族が応援に駆けつけ、普段の穏やかな家庭人の顔とは違った、凛々しい「仕事士」に熱い声援を送っていた。

「パパ～ がんばれえー！がんばれえー！」子供達の熱い声援が後押しとなって（一方ではプレッシャーとなり）、格好いいところを見せたい父親としての強い誇りが、その目つきの鋭さに一層拍車をかける。準決勝で健闘むなしく敗退したある敗者の弁。「距離感を多少誤ってしまった。負けてちょっと悔しいかな……（かなりのやせ我慢）」。

常に危険と隣り合わせのクレーン操縦士。安全な操作のためには、高度な技術とともに周りの仲間や家族の協力がいかに重要で大切か、本大会を通じて改めて感じたはずである。

ところで、平成23年7月に福岡市西区のマリノアシティにて発生した「クレーン倒壊事故」は、組合関係者のみならず世間に大きな衝撃を与えた。（奇跡的にも死者は1人も出なかったが、強風の煽りを受け横倒しになったクレーン車の衝撃映像は未だ記憶に新しい。）この事故は、本組合の組合員が起こした事故ではなかったが、福岡県内のクレーン業界を代表する強い自負と責任感から事故発生後速やかに緊急理事会を招集。そして事故原因をいろんな角度から検証するとともに対応策を組合独自に研究しそ

れを全組合員で共有し事故防止策に生かす等、この事故を決して他人事ではなく、組合員にも現実起こりうる重大事故として捉え、教訓にしてきた。

理事会、研修会等の会議での危機意識の醸成と徹底した情報共有、そして今回の技能大会によるクレーン技術の向上等、理事長を中心としたスピード感溢れる執行部の指導力と組合員の組合事業への参画意識の高さが相乗効果を生み、今の組合全体の結束力強化へと繋がっている。

中小企業等協同組合法の基本原則である組合員の為の「相互扶助」や「直接奉仕」の原則を、忠実かつ愚直なまでに実践している本組合の今後ますますの発展を願わずにはられない。

最後に、本大会に見事優勝したある勝者の弁。彼は、可愛い子供を持つ若き操縦士である。

「普段の仕事でも滅多に経験したことのないプレッシャーの連続で変な汗をかきっぱなしだった。今日はゆっくり休みたいです……。」

世界屈指と言われる日本の高度な建設技術は、大きなクレーンを指先の数mm単位で操作できる熟練技を備えた「男たち」に、実は支えられているのである。



お問い合わせ先

組合名：福岡クレーン協同組合

理事長：合瀬 武久

住 所：〒810-0041

福岡市中央区大名1丁目4番24号

T E L : 092-711-8322